

---

# 平成18年2月期 会社説明資料

平成18年6月27日

株式会社 山陽百貨店



# 目次



1. 企業の概要		4. 営業の概況	
企業理念	1	平成17年春のリニューアル	14
山陽百貨店のアイデンティティ	2	トピックス(1)	15
当社の概要	3	トピックス(2)	16
株式の状況	4	トピックス(3)	17
株価の推移	5		
連結子会社	6	5. 経営方針	
		SANYO倫理行動基準	18
2. 決算の概要		コンプライアンス経営	19
平成18年2月期 連結決算の概要	7	内部統制システム	20
連結キャッシュ・フローの状況	8	中期経営計画(H18～H21)(1)	21
事業別セグメントの状況	9	中期経営計画(H18～H21)(2)	22
平成18年2月期 単体決算の概要	10		
部門別売上高の状況(単体)	11		
3. 業績予想			
平成19年2月期 連結業績予想	12		
平成19年2月期 単体業績予想	13		



# 1. 企業の概要



# 企業理念

山陽百貨店はお客さま第一の企業精神に則り、  
ひとびとと地域の生活文化の向上に  
貢献する企業を目指す。

# 山陽百貨店のアイデンティティ



## 行動指針

新しい時代に対応できる

チャレンジ&改革

企業体質と組織風土を創出する。

## 企業姿勢

- 「山陽は」、「山陽のあの売場は」、「山陽のあの人は」決して私の期待を裏切らないとお客さまから評価を頂ける「企業」、「売場」、「人」を目指す。
- 「山陽と」、「山陽のあの売場と」、「山陽のあの人と」取り組んで良かったと、お取引先さまから評価を頂ける「企業」、「売場」、「人」を目指す。
- 株主さまから評価を頂ける「企業」を目指す。
- 「山陽で」、「山陽のあの売場で」、「山陽のあの人と」働いて良かったと、全ての従業員が評価できる「企業」、「売場」、「人」を目指す。

# 当社の概要



- 社名 株式会社 山陽百貨店 (Sanyo Department Store Co., Ltd.)
- 設立 1952年(昭和27年)2月1日  
創業1953年(昭和28年)7月1日
- 本店 兵庫県姫路市南町1番地
- 代表者 代表取締役社長 澤田瑞顕
- 資本金 405百万円
- 店舗 本店(兵庫県姫路市南町1番地) 売場面積27,972㎡  
郊外ショップ(福崎・龍野・広畑・網干・赤穂・豊岡・和田山)
- 従業員 273人(パートタイマーを除く就業人員)



山陽オリジナルキャラクター  
「夢見ちゃん」

# 株式の状況



- 発行可能株式総数 普通株式 200万株
- 発行済株式総数 普通株式 810,000株
- 単元株式数 100株
- 上場証券取引所 ジャスダック証券取引所(証券コード: 8257)
- 株主名簿代理人 住友信託銀行株式会社
- 公告方法 当社のホームページに掲載する。  
(<http://www.sanyo-dp.co.jp/densikoukoku.html>)
- 株主優待制度 毎年2月末日現在の株主に、所有株式数に応じて優待割引券および優待飲食券を年1回贈呈する。

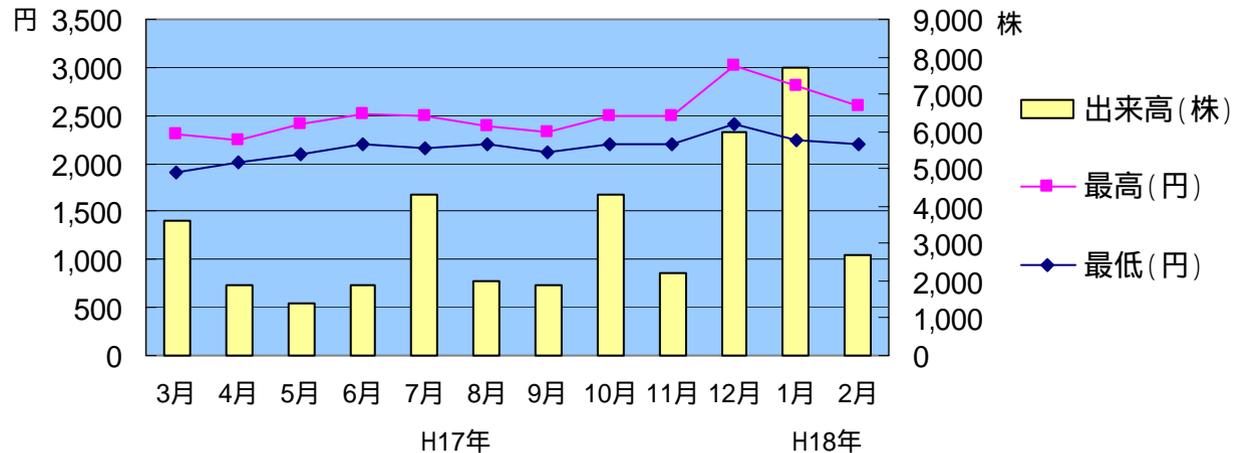


# 株価の推移



株価の推移(当会計期間における月別最高・最低株価と月別出来高)

月別	H17年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H18年 1月	2月
最高 (円)	2,300	2,240	2,405	2,505	2,500	2,385	2,330	2,500	2,500	3,010	2,810	2,600
最低 (円)	1,900	2,005	2,095	2,200	2,150	2,200	2,115	2,205	2,195	2,400	2,240	2,200
出来高 (株)	3,600	1,900	1,400	1,900	4,300	2,000	1,900	4,300	2,200	6,000	7,700	2,700



# 連結子会社



	(株)山陽友の会	(株)サンヨーマート	山陽アメニティ サービス(株)	山陽デリバリー サービス(株)	兵庫ライフ インダストリー(株)	(株)キャリアネット
所在地	兵庫県 姫路市	神戸市 垂水区	兵庫県 姫路市	兵庫県 姫路市	兵庫県 姫路市	兵庫県 姫路市
資本金(千円)	20,000	40,000	10,000	10,000	40,000	30,000
出資比率(%) (間接保有含む)	100	100	100	100	98.49(100)	49(100)
事業内容	割賦販売法 による前払式 特定取引業	食品スーパー マーケット	ビル メンテナンス業	自動車 運送業	書籍・CD・ ビデオの 販売業	一般労働者 派遣事業 および請負業
決算期	2月	7月	1月	1月	7月	1月

## 2. 決算の概要



# 平成18年2月期 連結決算の概要



(単位:百万円)

	第75期 16 / 2	第76期 17 / 2	第77期 18 / 2	前期比	当初予想 (H17.10.18)	増減額
売上高	30,016	28,243	27,362	96.9%	28,065	703
経常利益	133	184	2	1.5%	36	34
当期純利益	115	46	74	-	28	46
1株当たり 当期純利益	(円) 142.46	(円) 56.97	(円) 92.43	-	-	-

## ■ 百貨店業

- ◆ 改装工事に伴う期初の売場面積減少
- ◆ 14年ぶりとなる大規模リニューアルの実施
- ◆ 退職金制度改訂による特別利益計上
- ◆ 希望退職実施に伴う特別加算金等を特別損失計上

## ■ スーパーマーケット業

- ◆ 競合店との競争激化
- ◆ 不採算店舗の閉鎖(サンヨーマート伊川谷店・いぶき西フレア店)

# 連結キャッシュ・フローの状況



(単位:百万円)

	第75期 16 / 2	第76期 17 / 2	第77期 18 / 2	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	840	854	372	482
投資活動による キャッシュ・フロー	194	243	976	733
財務活動による キャッシュ・フロー	142	385	353	738

## 主な増減要因

### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

減価償却費600百万円、差入保証金の減少130百万円等による収入に対し、たな卸資産の増加110百万円、仕入債務の減少173百万円、退職給付引当金の減少178百万円等によるもの

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の償還による収入400百万円、資産売却による収入194百万円に対し、投資有価証券の取得による支出501百万円、百貨店の売場改装等による有形固定資産の取得による支出1,034百万円等があったことによるもの

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

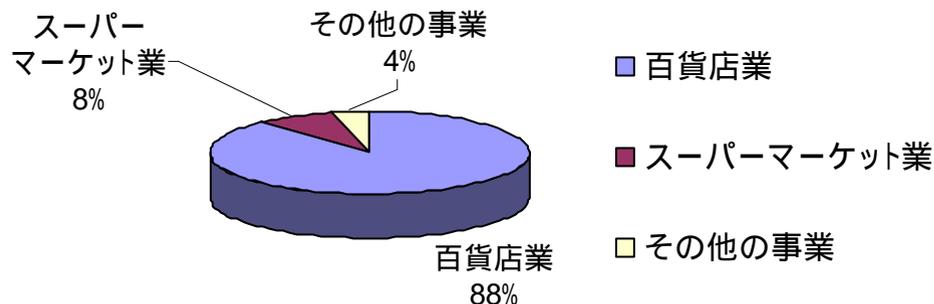
短期借入金の純増が580百万円、長期借入れによる収入2,100百万円に対し、長期借入金の返済による支出が2,324百万円あったこと等によるもの

# 事業別セグメントの状況

(単位:千円)

	第75期(16/2)		第76期(17/2)		第77期(18/2)			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	前期比	営業利益	前期比
百貨店業	25,830,741	170,290	24,679,343	196,666	24,286,586	98.4%	51,466	26.2%
スーパーマーケット業	3,506,024	14,687	2,870,399	32,853	2,367,811	82.5%	26,001	—
その他の事業	1,305,546	26,488	1,275,888	44,276	1,246,630	97.7%	20,605	46.5%
計	30,642,312	182,091	28,825,632	208,089	27,901,027	96.8%	46,070	22.1%
消去又は全社	(626,010)	26,784	(582,474)	16,555	(538,556)	92.5%	11,202	67.7%
連結	30,016,301	208,876	28,243,158	224,645	27,362,471	96.9%	57,272	25.5%

(注) 書籍等の販売事業および駐車場運営事業は「その他の事業」に区分していたが、事業展開の変化および百貨店業との親和性の高まりに伴い、前連結会計期間より「百貨店業」に含めて表示している。なお、第75期(16/2)については、この変更後の区分に組み替えて表示している。



# 平成18年2月期 単体決算の概要



(単位:百万円)

	第75期 16/2	第76期 17/2	第77期 18/2	前期比	当初予想 (H17.10.18)	増減額
売上高	25,750	24,597	24,212	98.4%	24,897	685
営業利益	175	196	50	25.6%	-	-
経常利益	101	132	13	-	5	18
当期純利益	92	21	106	-	99	205

- 4月27日にリニューアルオープン
  - ◆ 婦人ファッションの強化
  - ◆ 店舗環境の見直し
  - ◆ 阪神地区へのお客様流出阻止
- 人件費をはじめ経費の削減に努めるが、期初の改装工事による売場面積減少の影響
- 退職金制度改訂による特別利益計上があったものの、子会社支援損発生による特別損失計上
- 希望退職実施に伴う特別加算金等の計上

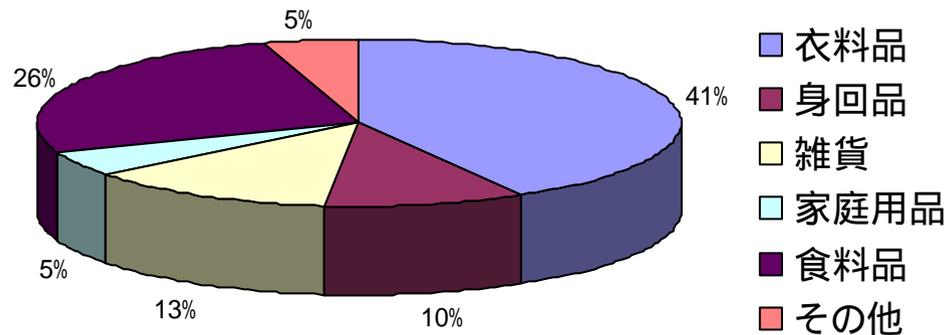
(注) 営業利益は業績予想数値を公表していません。

# 部門別売上高の状況(単体)



(単位:百万円)

	第75期 16 / 2	第76期 17 / 2	第77期 18 / 2	前期比
衣料品	10,798	10,143	10,085	99.4%
身回品	2,481	2,363	2,433	102.9%
雑貨	3,185	3,144	3,054	97.2%
家庭用品	1,287	1,206	1,142	94.6%
食料品	6,900	6,682	6,384	95.5%
その他	1,097	1,057	1,112	105.2%
計	25,750	24,597	24,212	98.4%



### 3. 業績予想



# 平成19年2月期 連結業績予想



(単位:百万円)

	第77期(中間) 17/8	第77期 18/2	第78期(中間) 18/8(予想)	前期比	第78期 19/2(予想)	前期比
売上高	13,494	27,362	12,987	96.2%	26,492	96.8%
経常利益	79	2	2	-	62	3100.0%
当期純利益	33	74	16	-	36	-

## ■ 百貨店業

- ◆ 前期のリニューアル効果による売上高増加分をカバーできず、微減予想
- ◆ 前期末実施した希望退職による人件費減少と業務費のさらなる削減

## ■ スーパーマーケット業

- ◆ 前期実施した不採算店舗の閉鎖(サンヨーマート伊川谷店・いぶき西フレア店)による売上減少

# 平成19年2月期 単体業績予想



(単位:百万円)

	第77期(中間) 17/8	第77期 18/2	第78期(中間) 18/8(予想)	前期比	第78期 19/2(予想)	前期比
売上高	11,770	24,212	11,809	100.3%	24,142	99.7%
経常利益	116	13	31	-	31	-
当期純利益	1	106	41	-	11	-
1株当たり 年間配当金(円)	-	0	-	-	0	-

## 4 . 営業の概況



# 平成17年春のリニューアル

山陽百貨店は、新しい山陽百貨店の構築を目指して、平成3年の西館増床以来14年ぶりの大幅な改装を実施しました。

## ストアコンセプト 「わたしの街の、わたしUP百貨店。」

人にやさしい、物にやさしい、環境にやさしい、を合言葉に  
 地域のお客さまの暮らしにきちんとまなざしを向け、  
 山陽ならではのクオリティの高い半歩先の生活提案をおこない、  
 お客さまの役に立ちます。  
 そしてお客さまに「私の店」と感じていただけるよう、  
 山陽百貨店は生まれ変わりました。



	リニューアル前
6階	催事場・子供服・レストラン街
5階	生活雑貨・書籍・美術・呉服
4階	紳士服・メガネ・宝飾・外商サロン
3階	婦人服・大きいサイズの婦人服
2階	ハンドバッグ・靴・婦人服
1階	化粧品・雑貨・アクセサリ
地階	食料品



	リニューアル後
6階	催事場・子供服・レストラン街
5階	生活雑貨・書籍・美術・呉服・宝飾・メガネ・外商サロン
4階	婦人服・紳士服
3階	婦人服・大きいサイズの婦人服
2階	ハンドバッグ・靴・婦人服
1階	化粧品・雑貨・アクセサリ
地階	食料品

店舗環境の整備

婦人ファッションの強化

サービス面の充実

# トピックス(1)



姫路・加古川エリア初登場  
「マックスマラー」



人気アイテムを取り揃えた「コーチ」ストアが  
リニューアルオープン



質の高い製品をより多くの人の手に！  
「ウェッジウッド」では  
優雅で気品に満ちた品々を展開



ギリシャ生まれのトータルブランド「フォルフォリ」  
ジュエリーを中心にウォッチ、バッグなどを幅広く展開



「せいでん姫路店」  
姫路駅前に待望の家電量販店が誕生

## トピックス(2)



駅前の賑わいを取り戻すための取り組みをはじめました。

「デパ前ライブ&パフォーマンス」

当社の女性従業員自身の手による様々なイベントを実施し、お客さまから好評をいただきました。



# トピックス(3)



人気のあいだみつを展「にんげんだもの」を開催し、多くのお客さまに感動を与えました。

ちびっこが大喜び。世界中から珍しい昆虫を集めた夏休み特別企画「驚異のカブト・クワガタ&美しいチョウの世界展」



## 5 . 經營方針



## 倫理宣言

山陽は社会の価値ある企業としての役割を果たすため、常に倫理を重んじ、公正で誠実な企業活動を行っていく。

## 倫理行動基準

1. 法令遵守
2. 公正で健全な行動
3. 社会とのコミュニケーション
4. 人権の尊重
5. 良き企業市民としての行動
6. 地球環境への配慮
7. 役員・幹部社員の責務

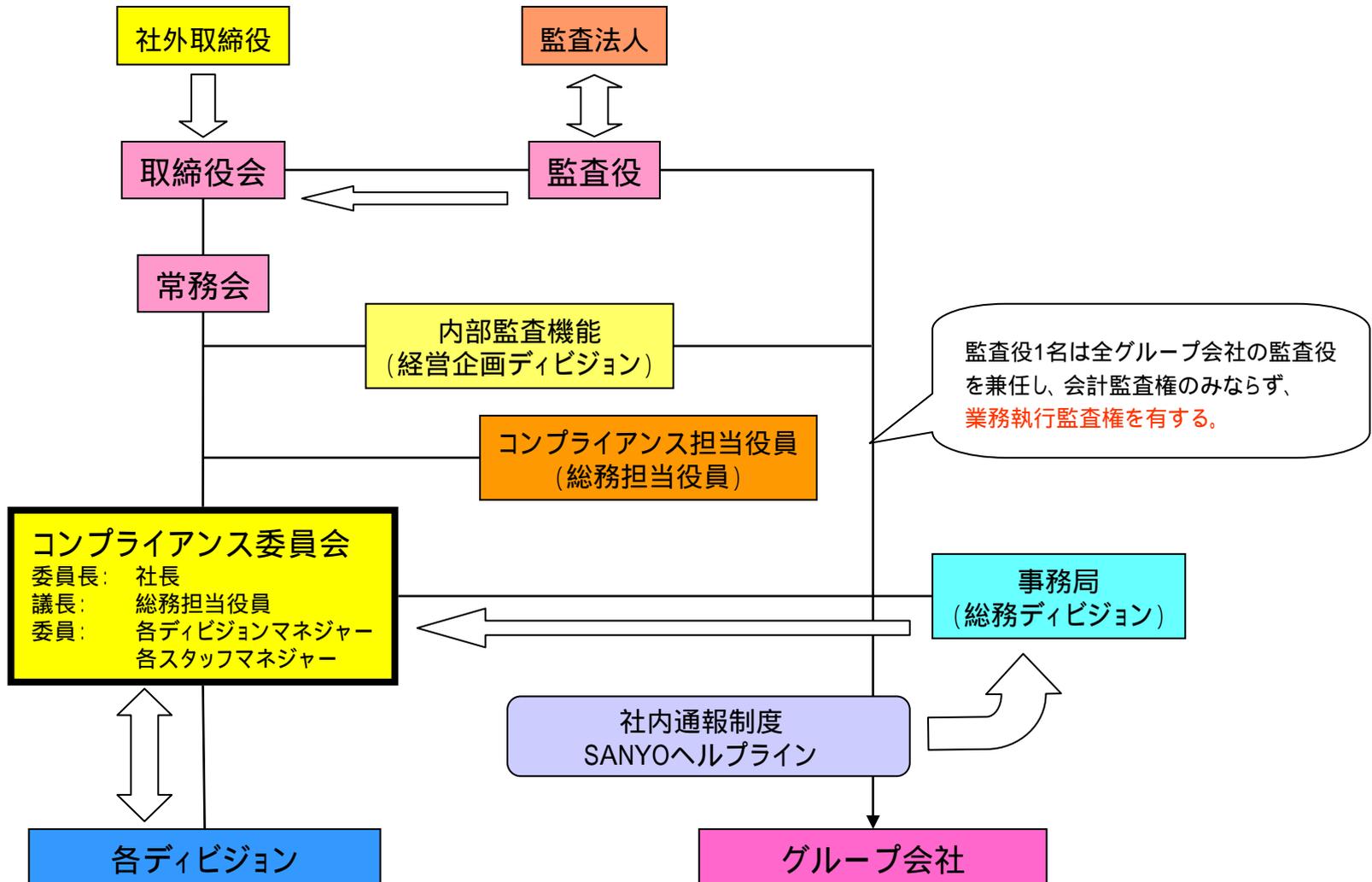
# コンプライアンス経営



企業倫理の推進と継続性を保つため、役員をはじめとして全社で取り組まなければなりません。その前提として組織が計画、実行、チェック、是正がうまく機能する体制づくりが必要となってきます。

当社におきましては、コンプライアンス委員会を核として強力的に推進しております。

# 内部統制システム



# 中期経営計画(平成18年度～平成21年度)(1)

## ■JR姫路駅鉄道高架事業と周辺整備事業

平成18年3月のJR山陽本線の高架化に続き、平成21年度には姫新線、播但線の鉄道高架事業が完了し、併せて姫路駅周辺の区画整理事業が進められていきます。

## ■平成21年度のあるべき姿

新しい姫路駅前のエントランスゾーンにふさわしい、地域のひとびとに愛される、**新複合型百貨店**を創り上げてまいります。

「**新複合型百貨店**」とは、総合的な品揃えと専門特化した品揃えの両分野をミックスさせた百貨店をいう。

## ■行動目標

お客さまとの接点を何よりも大切にする  
組織風土を創り上げる。



JR姫路駅を中心とした当社を取り巻く  
周辺環境が大きく変わります。

# 中期経営計画(平成18年度～平成21年度)(2)



## ■取り組み課題

1. 全員の意識と行動改革
  - 全従業員の現状認識の徹底
  - 「お客さま第一」「現場第一」主義の徹底
  - チャレンジと改革の具体化
  - 業務サイクルの定着
2. 営業力強化と収益構造の確立
  - 新店舗戦略
  - 「お客さま力」「販売力」「商品力」の強化
3. ローコスト経営の推進
  - コスト構造の見直し
4. グループ事業の再構築
  - 事業の選択と集中
5. 中心市街地活性化への取り組み

平成21年度(連結)

営業利益目標 350百万円

有利子負債残高目標 85億円

この資料に関するお問い合わせ

〒670-0912 兵庫県姫路市南町1番地  
株式会社 山陽百貨店  
総務ディビジョン

TEL (079)223-1231

FAX (079)223-5707

E-mail [somu@sanyo-dp.co.jp](mailto:somu@sanyo-dp.co.jp)

(注) この資料に記載された内容は、平成18年6月27日現在において当社が合理的と判断した計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される場合があります。また、業績等の見通しは様々な重要な要素により実際の業績と大きく異なることがありますので、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えられますようお願いいたします。